

ムーンライフ

[Vol. 97]

探してみよう！ 🦀 🐚 🐌 ★ 🧢 🦀 🐚 🐌 ★

里海にも夏がやってきました！



日差しも強くなり、里海にも夏の訪れを感じる生き物たちが姿をあらわすようになってきました。この時期、海辺の生き物たちも活発に動き出し、独自の生活スタイルをみせてくれます。『初夏～夏』の訪れを感じることができる海辺の生き物たちを紹介しますので、みなさんも海辺で探してみましょ！



干潟でダンスパーティー！『カニのウェービング』

この時期、ハクセンシオマネキなどの干潟にすむスナガニ科の仲間たちは、干潮時に巣穴から出て、いっせいにハサミふりダンスをはじめます。このダンスは「ウェービング」といって、オスがメスにアピールする求愛ダンスでもあります。ハサミのふり方はカニの種類によって異なります。



海にぶどう？『イカの卵』

藻場では、アマモなどに産みつけられたイカの卵を見つけることができます。卵の形や大きさはイカの種類によって異なります。例えば、コウイカの場合、気に入った枝が見つかったら、盛んに水をかけて枝の掃除を始めます。準備が整うと枝に腕をからめ、400個ほどの卵を一つ一ついねいに産みつけます。



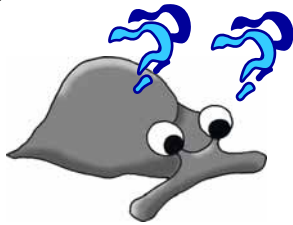
黒い集団？『クサフグの産卵』

大潮の前後数日間、たくさんのクサフグたちが、産卵場所をもとめて港や河口に集団で移動し、満潮の2～3時間前から産卵をはじめます。メスが波打ち際で卵を産むと、オスはバシャバシャと波しぶきをあげながら、水面が白くにごるほど精子を放出し、受精させます。まさに新しい生命が生み出される瞬間です。



カブトガニ『浅瀬に上陸』

冬は水深の深いところで越冬するカブトガニたちですが、水温が高くなってくると、エサが豊富にある干潟に移動してきます。干潟は、幼生にとってエサを食べる脱皮を行う場所であり、成体にとっては産卵場所である砂浜に向かうための移動経路でもあります。今年もラベルをつけたカブトガニが帰ってきているかな！



「うみぞうめん」は食べられる??

春から初夏かけて、岩や海藻の間によくみかける黄色いひも状の物体。みなさんご存知の「うみそ
うめん・うみぞうめん」とよばれるアメフラシの卵塊です。この「うみぞうめん」、「食用になる」と
いう話と「食用にはしない」という話がありますが、本当のところはどうなのでしょう？

アメフラシ（学名：*Aplysia kurodai*）の卵塊（写真1）は、
見た目はラーメンや焼きそばの麺のように見え、まさに海の「そ
うめん」のようです。昔は食用とされていたようで、江戸時代の
文献にアメフラシの卵塊と推測されるものが食材として載ってい
るのが確認されていますが、現在ではアメフラシを食用にしてい
る地域でも食べられてはいないようです。

しかし、他にも探してみると、食用の「海ぞうめん」といわれ
るものが乾物（写真2）などで流通しています。これはいったい
何なのでしょう。その正体は、ウミゾウメン（学名：*Nemalion
vermiculare*）という海藻の一種で、アメフラシの卵とはまっ
たく関係ないものなのです。調理法としては、軽く加熱したものを
三杯酢であえたり（写真3）、吸い物の具にしたりします。おそら
くはこれがアメフラシの卵塊と混同され、今も「食用にされてい
る」という話になったのではないのでしょうか。

※なお、アメフラシは、食べるエサの種類によっては体に毒を持つ可
能性があるので、常食していない地域で捕獲したものは食べないよ
うにしてください。また、その卵も食べないようにしてください。

◆参考文献◆

苦瓜和憲,宮城昌保 (1996) 冊封使の琉球における食の考察 . 沖縄大学地域研究所年報, No 8 . pp 89 -99. 他

写真1



写真2



写真3



スナメリの骨格標本、作製中!

平成22年2月22日（月）、大柿町大君の砂浜に
スナメリ（体長155cm）が打ち上げられていまし
た。すでに死亡しており、皮膚は半分以上はがれ、頭
部の先の方は白骨化していました。連絡をくれた方
によると、2月20日の午後には、すでに打ち上げら
れていたそうです。小型鯨類であるスナメリは、かつ
て瀬戸内海にはたくさん生息していたのですが、現
在ではその姿をほとんど目にする事はなくなってい
ました（水産資源保護法の捕獲禁止対象種）。



【打ち上げられていたスナメリ】

現在、水産庁から「学術目的所持」の許可を得て、骨格標本作製中です。大きな生き物なので、骨
から肉を除く作業が大変なのですが、完成したらみなさんに紹介しますね。

やってみよう 見てみよう

科学研究のすすめ ～その1～ の巻

科学研究といえば夏休み。いえいえ、そんなことはありません。今からやってもいいのです。毎年「科学研究ってどうやればいいの？」と頭を悩ませている人も多いのではないのでしょうか。そこで、今回から何回かにわけて、「科学研究の進め方」を紹介します。

<①テーマをみつけよう!!>



まずはテーマをみつけましょう！テーマといってもあまり難しく考える必要はありません。例えば、これまでも学校の理科の時間に習ったことや日常生活で体験したことの中で、不思議に思ったことがたくさんあるはずです。また、海や山で遊んだり、水族館や博物館などを訪れて新しい知識を得る機会もあると思います。そんな時、「不思議だな」「もっと知りたいな」と思ったことがあれば、それをテーマにすればいいのです。

『科学研究』は、研究の対象（題材）が何であるかではなく、「実験や観察を通じて客観的なデータを取り、それを解析してまとめる過程が科学的である」ことが大切です。不思議に思ったことを「そういうものなんだ」と思わず、「なぜなんだろう？」と考えてみてください。ほら、もうテーマが見つかりましたよ！楽しみながら研究できるテーマを見つけてください。

海で見つけたふしぎ

アサリが少なくなったのはなぜ？



机の上で見つけたふしぎ

ゴムはどれくらい伸びるの？

庭で見つけたふしぎ

ミミズは後ろ向きにも進めるの？

台所で見つけたふしぎ

リンゴを長持ちさせるには？

池で見つけたふしぎ

水が緑色になるのはなぜ？

山で見つけたふしぎ

山の土はどれくらい水をためるの？

このほかにも・・・

紙ひこうきを長時間飛ばすには？



ここに注目



- 1、日常生活からの発見
- 2、理科の学習からの発見
- 3、過去の研究作品からの発見
- 4、これまでの自分の研究からの発見

【ただし・・・】

実験・観察する内容が具体的に思いつかないテーマや、先に進めそうにないテーマ（見通しがもてない課題）は、研究テーマとしてはあまりむいていません。まずは、研究を始める前に、自分のテーマについて調べる方法がいくつぐらい思いつくか分析してみましょう！

◆ 他にもあるよ！！ Let's Try ! ◆

蒸してよしダシにしてもよし。どう食べてもおいしい「ワタリガニ（ガザミ）」ですが、近年、ガザミに交じってタイワンガザミも「ワタリガニ」として売られていることがあります。もともと日本ではガザミより少ない南方系のタイワンガザミですが、よく漁獲されるようになってきているからでしょう。お店で売られている「ワタリガニ」の混在比をみれば、江田島周辺の生息状況が分かるかも！？お店でもテーマを発見！！



【ガザミ】

カニのダンスを見に行こう!

干潟では、巣穴から出てきたハクセンシオマネキやチゴガニたちがダンスを行う季節になってきました。カニたちが、いっせいにハサミをふってダンスをしている姿はとてかわいらしいですよ!当日は、カニに関するクイズやゲームを行います。ぜひ来てね!



日 時:平成22年6月12日(土)

13:30~16:00

(干潮時刻 15:29 +11cm)

集合時間:13:30

集合場所:環境館

観察場所:大柿町深江島戸川河口干潟

申し込み:平成22年6月11日(金)までに

環境館事務局へお申し込み下さい。

☆持ってくるもの☆

帽子, 長靴, 軍手, スコップ,
バケツ, タオル, 飲み物 など



潮見表 6月の観察に適した日時 (干潮時刻と潮位)

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
時分	6:16	6:55	7:38	8:28	9:27	10:35	11:39	0:02	1:05	1:56	2:41	3:25	4:08	4:51	5:36
cm	132	135	139	141	138	129	112	154	149	141	133	127	122	118	114
時分	18:12	18:49	19:29	20:17	21:19	22:39		12:32	13:19	14:02	14:45	15:29	16:13	16:58	17:43
cm	50	70	91	115	136	151		91	67	45	26	11	2	0	6
6月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
時分	6:22	7:09	8:00	8:56	10:00	11:10		0:59	2:00	2:50	3:33	4:12	4:48	5:23	5:56
cm	111	108	106	103	97	87		160	155	148	141	135	130	126	122
時分	18:29	19:17	20:08	21:06	22:18	23:43	12:17	13:15	14:06	14:52	15:34	16:13	16:49	17:23	17:55
cm	20	44	75	109	139	157	73	58	45	36	31	30	34	41	53

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

広島県の暦象と潮位(日本気象協会中国センター)から

潮位30cm未満(網掛けにしている日)が調査に適しています。

事務局だより

●中国新聞に載りました・・・5月7日(金)発行の中国新聞に、4月29日(木)に開催された第83回自然観察会の様子が掲載されました。市内はもちろん、広島市や呉市から来られた方など、50人以上の方が参加され、にぎやかな観察会になりました。楽しそうに生き物を探す参加者の写真がバッチリ載っていましたよ。

●メキシコサンショウウオ・・・5月12日(水)、第14回教材生物バザール(広島県立教育センター)に参加して、メキシコサンショウウオの赤ちゃんをいただきました。まだ手足が生えていないので、上から見るとメダカのようなです(かわいい)。

●投稿・情報大募集・・・みなさんからの投稿をお待ちしております。次号Vol.98(6月15日号)の原稿締切は、6月10日(木)です。

江田島市教育委員会 生涯学習課

大柿自然環境体験学習交流館(環境館)

環境館長:西原 直久

指導主事:八川 慎一

専門員:清家 暁

〃:山本真悠子

支援員:木村さつき

〃:浜村 正純

(友の会会員 シニア 138名 ジュニア 68名)

事務局 調査会・研修会の申込み、環境館利用に関する問い合わせ先です。

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

大柿自然環境体験学習交流館

TEL(0823)57-2613

FAX(0823)40-3100

E-メール kankyoukan_mail@yahoo.co.jp

ホームページ http://www.urban.ne.jp/home

/fukaesho/kankyokan/



◆あとがき◆先週から、釣附海岸で見つけたミドリイソギンチャクを飼っています。エサは、かまぼこや刺身のかけらをあげています。意外と手軽に飼えて、可愛いので、興味のある方は飼ってみてください☆(山本)